

東京歯科大学における 機関リポジトリ導入について

東京歯科大学図書館

機関リポジトリとは？

- 大学の学術成果を累積的かつ永続的に保存
 - 学術成果＝電子化した学術論文そのもの
- インターネットで誰でもアクセス可能

東京歯科大学の学術情報を世界に発信！

メリットは？

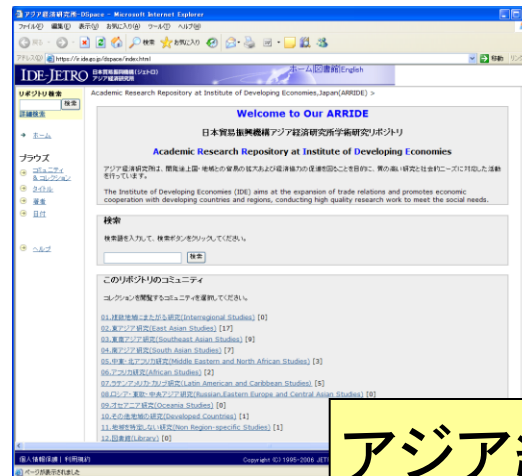
- 大学として
 - 歯科大学としてのユニークな業績を世界に発信
 - 社会に対する説明責任の履行
 - 歯科大学のリポジトリは世界初
 - 大学としてのアピール
- 研究者として
 - 論文の被引用率アップ
 - 業績の管理軽減

日本の機関リポジトリ

- 国内の機関リポジトリ数 20
- 国立情報学研究所の公募事業を受け、今年度中に60以上になる予定
- 世界では700以上

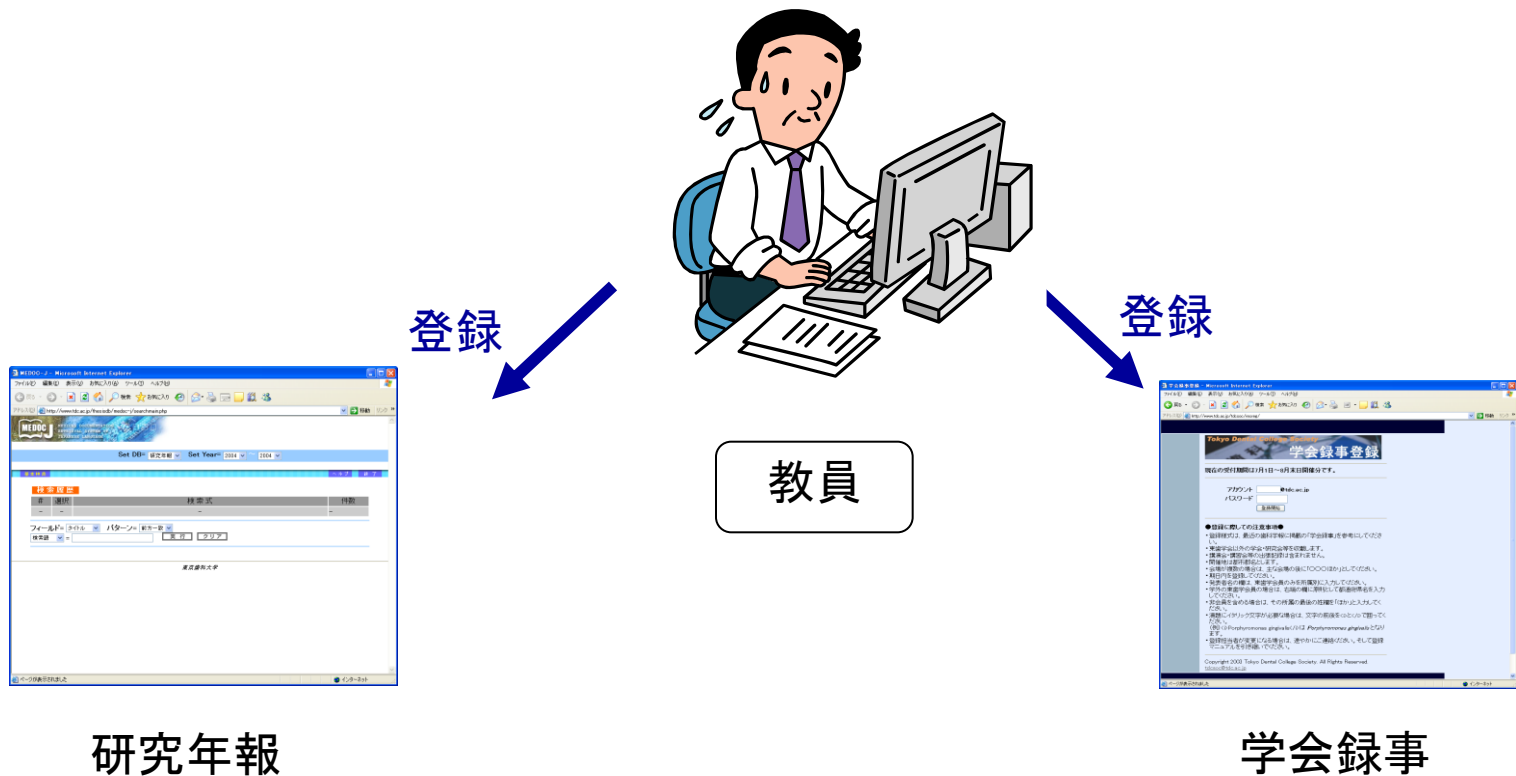


千葉大学



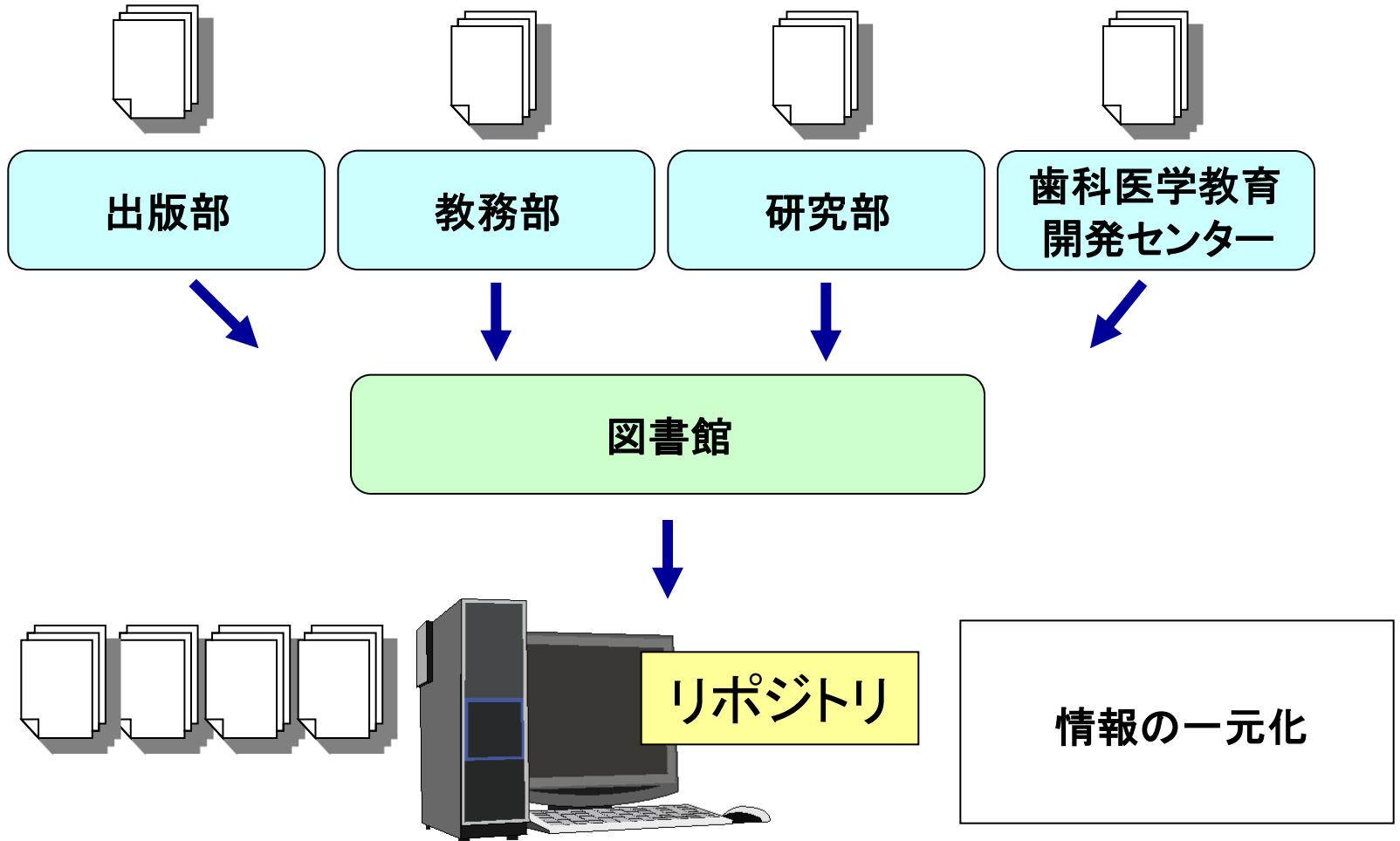
アジア経済研究所

いままでは

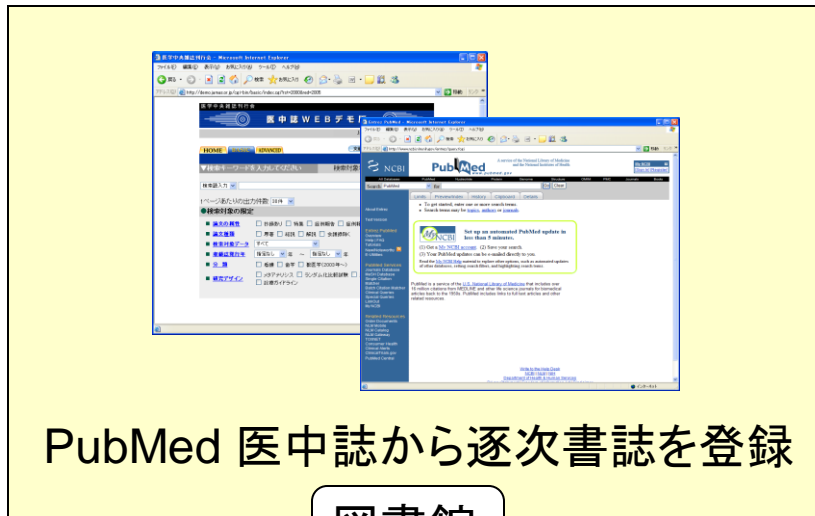


- 登録作業に手間がかかる
- 登録データの質に疑問？

これからは



これからは



図書館

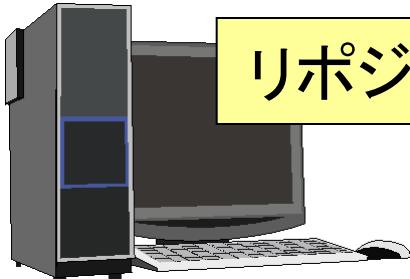
連絡
⇔
原稿の提供
(電子媒体)



教員



著作権処理 & リポジトリ登録



リポジトリ

- 登録作業からの解放
- 登録データの質の向上

東京歯科大学としての情報発信

- Bulletin of Tokyo Dental College
 - J-Stageにて公開
- 歯科学報（東京歯科大学学会）
- 教養系紀要
 - 電子ジャーナル化実現への足がかり

学術情報を一元的に管理・発信

収集するコンテンツ

- 学術雑誌論文
- 学会発表抄録・ポスター・スライド
- 科学研究費補助金成果報告書
- 学位論文
- 卒業論文
- 教材

学内で生産された学術情報のすべて

コンテンツ収集にあたって

- 登録の義務化
- 著者全員が学内者の場合は許諾不要
- Bulletin of Tokyo Dental College、
歯科学報、教養系紀要のバックナンバー
登録許可

発信力の強化

- Google
- JuNii(国立情報学研究所)
- OAlster(ミシガン大学)
- Scirus

世界中から検索可能！

著作権

- 世界の90%以上のジャーナルはリポジトリへの登録を認めています
- 著作権処理は図書館で責任もって行います
- 登録が不可の場合も原稿は図書館で責任もって保管します

スケジュール

- 学内リポジトリ説明会（今秋）
 - システム選定・構築（今から）
 - 試験公開（今年度中）
 - 公開（来年度）
-
- NII平成19年度公募事業応募

動き出します！